

昭和

議会だより

第

87

号

平成30年1月25日 12月定例会

<群馬県昭和村議会>



集中！ 第48回上毛かるた大会



Contents

2～3 あいさつ

4～5 12月定例会

10～15 村の姿勢を問う

18～19 議員出前懇談会

20～23 中学生議会



新年のごあいさつ

議長 加藤 生

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい平成30年の新春をご家族お揃いで迎えられましたこと、お慶び申し上げます。

昨年は天候不順により、秋野菜の生育や収穫に悪影響がもたらされ、本村の特産物であるこんにやくについても取引価格が低迷し、農業を取り巻く状況は厳しいものでありました。その中で本村は、地方自治法施行70周年記念式典において総務大臣表彰を受賞いたしました。また、横浜市との友好交流協定が締結されて5年目を迎えたことから、横浜市の松本議長や市会議員の先生方、渡辺副市長をお招きし、第20回昭和の秋まつりにおいて記念植樹を行いました。

ところで私たちの村は、昭和村になってから今年で60年を迎えます。多くの先人たちが思い描いた豊かで安心な生活のできる村へと、一歩一歩と力強く着実に歩んでまいりました。村でもようやく財政危機を脱出したものの、庁舎問題や超高齢化社会に向けての課題等もあり、若い人たちに魅力ある村づくりを進める中で村民の意をふまえながら、議員が十分に議論した上で政策を提言していきたいと考えています。

そして、昨年は3回目となる議員出前懇談会が開催されました。今後も村民の皆様にご理解をいただける議会へと変革していこうと考えています。また、村民の皆様へのご期待に沿うべく、道路行政においてもようやく維持補修から新設の舗装道路等が出来るようになりました。まだまだ地域によっては補修等の要望もありますが、順次対応するよう提言してまいります。明るい村づくりに向けて村当局と歩調を合わせ、進んでまいりたいと思います。

議会としても皆様のご意見をお聴かせいただき、最小の経費で最大の効果を発揮出来ますよう、議員一丸となってご期待に努めてまいります。村民皆様のご指導ご協力を心からお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

副議長 兵藤 喜孝

新年、明けましておめでとうございます。
村民の皆さまには、平成30年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、海外では「米国第一」のトランプ大統領が移民に対して差別発言を繰り返し、また、北朝鮮による弾道ミサイルの発射や核実験、そして世界各地で民族対立など、世界平和にはほど遠い一年でありました。

国内では衆議院議員選挙があり、「森友・加計学園問題」で政権への反発も強かったが自民党が大勝しました。また、日本のお家芸といわれる「ものづくり」の現場では検査データの改ざんなど不正が続出しました。今後の行方が大変心配されるところであります。

本村においては、昭和村が誕生して60年の節目を迎える年です。近年は道の駅めぐりーむ昭和のオープン、横浜市・玉村町との友好交流協定の締結、河岸段丘ハーフマラソン大会の開催、赤城山船ヶ鼻登山道の開通など、観光資源につながる取り組みが行われています。今後の地域振興を図るうえでは、安易な取り組みではかえって地域を壊してしまう可能性があります。周りに流されず、腰を据えて観光資源を磨き上げ、新たな観光・交流人口の増加に結びつけ、そして、将来像として都市と農村のあり方をしっかり定めることが大切であります。

また、議会活動では「開かれた議会」を推進するため、議員出前懇談会を村内6会場で開催し、多くの村民の皆さまから貴重なご意見・ご提案をいただきました。村民の皆さまのお声が村政に十分反映されるよう、議員一同なお一層の努力を尽くす所存でありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が村民の皆さまにとって、素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



12月定例会

今定例会は、12月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。承認1件、議案16件、発議1件の計18件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。また、6人の議員が一般質問し、村政の課題について村当局の答弁を求めました。

新たに基金を設立

承認(専決処分)

平成29年度一般会計補正予算(第4号)

745万7千円を増額

総額 40億8822万4千円

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費による増額。

人事

公平委員会委員の選任同意

任期満了に伴い、吉澤安太郎氏を再任。



(中野下)

条例制定

公共事業整備基金条例の制定

本村の公共施設の整備及び維持に必要な経費に充てることを目的に制定。
(※表1参照)

条例改正

昭和村立学校校舎建築基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

目的を建築費に充てるものを、改修費にも活用できるようにするための改正。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の職員で常勤ものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

いずれも人事院勧告による期末手当の引き上げに伴う改正。

職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による月例給与と勤勉手当の引き上げ等に伴う改正。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

雇用保険法等の改正による非常勤職員の育児休業期間の延長に伴う改正。

税条例の一部改正

配偶者控除及び配偶者特別控除の見直しにより、控除対象配偶者を同一生計配偶者とするための改正等。

補正予算

平成29年度一般会計補正予算(第5号)

23億4370万3千円を増額

総額 64億3192万7千円

財政調整基金から学校建築基金や公共事業整備基金等への積み替えとふるさと納税返礼品代などの増額。

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

7048万5千円を増額

総額 14億1097万4千円

療養給付費等や高額療養費の増加などによる増額。

平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

778万8千円を増額

総額 1億4470万円

配水管布設替工事などによる増額。

平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

500万円を増額

総額 3億1858万4千円

下水道修繕料の不足による増額。

平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

12万3千円を減額

総額 7934万8千円

保険基盤安定負担金の減等による減額。

その他

和解及び損害賠償額の決定
台風18号により村有林の木が倒れ、隣接する堆肥舎の屋根を破損する事故が発生し、和解を成立させるための費用の決定。

財産の処分

長者之原工場用地をキャノン電子株式会社に売却するための財産処分。

発議

市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求めめる意見書

市町村の道路整備事業に必要な交付金予算を持続的に確保すること、また、長期にわたり安定的に道路整備を進められるよう「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の嵩上げ措置を今後も継続することを求める意見書を提出。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

(提出者)

議会議長 加藤 生

(表1)新たな基金の設立と積み替えについて

基金名	基金名(積替額)	主な内容
現在の 財政調整基金 39億7,467万円	庁舎整備基金 4億円	役場庁舎の改修・建築
↓ 積み替え 21億8,800万円 ↓ 積み替え後の 財政調整基金 17億8,667万円	学校校舎整備基金 2億5,800万円	学校の改修・建築
	公共事業整備基金(新) 11億8,000万円	その他の公共施設の改修・建築インフラ整備
	減債基金 3億円	公債費(借金)の支払い
	赤城西麓整備基金 5,000万円	赤城西麓事業の負担金

(新)・・・新たに設立した基金

行政活動を計画的に行う観点から、昨年度作成した公共施設の総合管理計画に基づき、将来的に必要な資金について左記の通り財政調整基金より特別目的基金へ積替を行う。
そうすること、その時々々の財政状況に左右されることなく、計画的に整備を行えるようになる。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	加藤美昭	高橋昇三	藤井富夫	林幸司	兵藤喜孝	加藤生
第4回定例会(平成29年12月7日~15日)													
承認第10号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成29年度一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	昭和村公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	昭和村公共事業整備基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	昭和村立学校校舎建築基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	昭和村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	昭和村特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	昭和村職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	昭和村税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成29年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	財産の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求めめる意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員協議会

10月・11月・12月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおり。

10月28日

Jアラートの点検訓練

防災行政無線を用いた地震やミサイル発射、気象警報発令時に備えた伝達訓練の実施について報告がありました。日時は、11月14日午前11時頃。

千年の森貸付

村で貸付をしている千年の森Jーwingsスポーツセンター敷地面積の推移について説明と報告がありました。

国有林内の軽石採取

赤城高原の国有林内において、平成30年5月より軽石の採取が2年間行われる説明がありました。

村有林伐採植栽事業

糸井糸之瀬赤城山地内において、森林環境保全直接

支援事業により、立木を伐採して売却し、その後ナラの木を植栽します。

11月24日

（株）道の駅あぐりーむ昭和の上半期事業報告

今年度から民営化によりスタートした道の駅の主なイベントや来客数、売上実績等の説明など、上半期における事業報告がありました。道の駅全体では、前年比1300万円の売上増です。

財政調整基金の今後の取り扱い

今後予想される支出については、財政調整基金に全て頼らず、事前に特定目的基金を設け、資金運用を行っていくことで、災害や財政難など不意な支出が皆さんに際にも計画的に支出

することができま
す。
特定目的基金として予想できるものは、庁舎整備基金・学校校舎建築基金・公共事業整備基金などがあります。

12月13日

長者之原工場用地の土地売買（元営林署跡地）

村として土壌調査を行い、特定有害物が基準値以下であることが確認されたことから、定例会本会議に追加提案し、キヤノン電子（株）と売却契約したい旨の説明がありました。（面積約2・6ha、金額3882万円）

生活支援体制整備事業

地域住民が主体となった生活支援、介護予防サービスの充実が図れるよう、「昭和村生活支援体制整備事業（仮称）」を実施し、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めていきます。

協議体「助け合い、支え合いの地域づくり会議」や生活支援コーディネーター

「地域支え合い推進員」を中心に高齢者を支援していきます。



元営林署跡地

みなさんからの請願・陳情

自 平成29年9月13日 至 平成29年11月27日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
50	H29. 9.13	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書の提出について(依頼)	群馬県町村会 会長 茂原荘一 群馬県町村議会議長会 会長 仲澤太郎		文教産建	採択 (意見書提出)
51	H29.11.13	森下地内村道弁財天10号線舗装工事を求める請願書	森下中組区長 見城正作	藤井照明	文教産建	採択
52	H29.11.16	インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する、陳情	利根沼田腎臓病友の会 会長 関上裕明		総務民生	採択
53	H29.11.24	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願書	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 石関貞夫	林 幸司	総務民生	継続審査
54	H29.11.24	「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書提出を求める請願	群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 石関貞夫	林 幸司	総務民生	継続審査
55	H29.11.27	請願書 村道赤坂線 道路改良工事のお願いについて	椽久保北部区長 鈴木岩夫 椽久保南部区長 鈴木光春 椽久保三ツ谷区長 金井一裕	兵藤喜孝	文教産建	採択

議会の動き

10月

- 11~13日 ● 利根郡町村議会議長会県外研修(愛知県・三重県)
- 16日 ● 利根郡定例議長会
● 広域圏定例議員協議会
- 17~18日 ● 議会広報編集特別委員会視察(石川県内灘町)
- 23日 ● 議員出前懇談会(追分住民センター)
- 24日 ● 議員出前懇談会(入原公民館)
- 26日 ● 議員出前懇談会(地域活性化センター)
- 27日 ● 議会全員協議会
● 群馬県町村議会議員研修会(吉岡町)
- 30日 ● 議員出前懇談会(松ノ木平第二住民センター)

11月

- 3日 ● 村内バレーボール大会
● 農産物等盗難防止パトロール隊出発式
- 6日 ● 議員出前懇談会(生越住民センター)
- 8日 ● 議員出前懇談会(JA南部支店)
● 横浜市こども青少年・教育委員会行政視察来村

- 13日 ● 利根郡定例議長会
● 広域圏定例議員協議会
● 利根沼田中学校組合議会議員協議会
- 15日 ● 群馬県議会広報研修会(前橋市)
● 農産物等盗難防止パトロール
- 16日 ● 秋の道路愛護巡視
- 17日 ● 群馬県議長会臨時総会(前橋市)
● 群馬県知事・県議会議長等との懇談会(前橋市)
- 20日 ● 地方自治法施行70周年記念式典(東京都)
- 21日 ● 町村議会議長会研修会(東京都)
● 町村議会議長全国大会(東京都)
- 22日 ● 農産物等盗難防止パトロール
- 23日 ● 村文化祭
- 24日 ● 議会広報編集特別委員会
● 議会全員協議会
- 27日 ● 広域圏定例議員協議会
● 利根沼田中学校組合議会定例会
- 28日 ● 中学生議会
● 議会運営委員会

12月

- 6日 ● 農業振興地域整備促進協議会
- 7日 ● 本会議(初日)
- 8日 ● 総務民生常任委員会
- 12日 ● 文教産建常任委員会

- 13日 ● 議会全員協議会
- 15日 ● 本会議(最終日)
- 18日 ● 議会広報編集特別委員会
- 20日 ● 国民健康保険運営協議会
● 介護保険事業計画策定委員会

- 28日 ● 仕事納め

1月

- 4日 ● 仕事始め
- 6日 ● 村消防団出初め式
- 7日 ● 村成人式
- 8日 ● 村賀詞交歓会
- 12日 ● 議会広報編集特別委員会
● いじめ防止子ども会議

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

透析患者の予防接種費用を軽減

「インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する、陳情」を審査

腎臓病を患っている人の予防接種補助対象は現在、60歳以上である。透析患者は感染症が重症化しやすい、インフルエンザにかかると重症化する可能性がある。

本村にも60歳以下の透析患者がいるため、予防接種の補助を行うべきとのことから採択とした。(全員賛成)



「安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願書」を審査

国は医療勤務環境の改善や人手不足の解消を図るべく、法改正や支援を行ってきたが、実態は改善されたとはいえない状況であり、今後も勤務環境等の改善を

求めていく必要があると説明を受けた。

医療・介護現場の人手不足や厳しい労働実態の改善は喫緊の課題であるが、今後の国の動向にあわせて働きかけをすべきとのことから継続審査とした。(賛成1、継続審査4)

「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現を求める意見書提出を求める請願」を審査

超高齢化を迎える中で介護現場の人材確保・離職防止は喫緊の課題である。主な離職の理由は低賃金・人員不足による業務過密等により、労働環境の整備を行う必要があると説明を受けた。

人材確保や離職防止対策、介護体制の確立は国の状況をみながら対応すべきとのことから継続審査とした。(賛成2、継続審査3)

松ノ木平第二地区の防火水槽、榛名女子学園を視察
当該地区にある3箇所の防火水槽は、いずれも老朽化しており、また上蓋が網状で水槽内も汚れている。しかし、火災時のためにも手入れを行い、維持・管理していくべきと決定した。

また、14歳以上20歳未満の女子少年を収容する国の施設である榛名女子学園を視察。在院者の改善更生や円滑な社会復帰を図るための矯正教育として行っている、生活指導や職業指導等について園長より説明を受けた。



松ノ木平第二地区の防火水槽

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

かさ上げ措置の継続を国に要望

「森下地内村道弁財天10号線舗装工事を求める請願書」を審査

請願箇所の現地確認を行ったところ、近隣は現在、3軒の新築住宅が建設中であつた。他にも工事、改修が必要な道路がある、建設中でまだ人が住んでいないのに道路舗装の請願はいかがなものか等の意見があつたが、将来的に住宅が増える可能性があり、村の人口減少対策にも繋がることから

採択とした。(賛成3、趣旨採択1、継続審査1)



請願箇所を調査(森下)

「市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書の提出について」を審査

道路整備には多額の費用がかかり、補助率のかさ上げ措置は村の財政にも大きく影響する。ぜひ継続を国に実施してもらいたいとのことから採択し、意見書を提出。(全員賛成)

「椽久保地内村道赤坂線道路改良工事のお願い」を審査

当該村道は道路整備から40数年が経過し、経年劣化による路面の亀裂が広範囲にわたり発生している。道



経年劣化により亀裂の入った路面(椽久保)

路清掃等で穴埋め補修を実施し、大切に管理してきたが、現地では交通の支障となる箇所が多々見受けられた。一度きれいに整備し直す必要があることから採択とした。(全員賛成)

群馬県立歴史博物館を視察
村から出土した土器、剣、五鈴鏡等の備品貸出を行っており、それらの展示状況や県内の出土品について館

長より説明を受けた。また、群馬県や昭和村の古墳の歴史的価値等の説明を受け、文化的財産を保存する大切さを研修した。



永井 一行 議員

保育園バスの更新を

村長 前向きに予算措置を検討



25年で25万kmを経過

問

第二保育園の送迎バスは、村の宝である子どもを乗せるには経過年数・走行距離をみても安全性に欠ける。更新すべきだと思うが、村長の考えを伺いたい。

答 村長

保育園バスは第一、第二保育園の行事にも活用しています。定期的な点検し、安全性には細心の注意を払って慎重に運行しています。
来年度予算を編成する中で内容等を勘案しながら予算措置を検討していきます。

第二保育園も0歳児から受け入れを

問

村内3保育園の中で第二保育園だけが2歳児からの受け入れである。0歳児からの受け入れが第一・子育て保育園のために自宅から遠い園に送迎し、1歳、2歳になっても継続して通っている実態もある。他園と同様、第二保育園でも0歳児から受け入れられるべきと思うが、村長

答 村長

子育てに関する施策は、村においても重要な位置付けにあります。乳幼児期は一生に関わる大切な時期と認識しています。現場の状況を確認しながら保護者のニーズを正確に把握し、慎重に検討していきます。

横浜市の中高生等をホームステイで受け入れては

問

若い年代の人たちに将来の職業として農業を見てもらうために農家への民泊、農業体験をしてみよう。そういった交流があってもいいのではないか。

答 教育長

横浜市との交流事業では、村内3小学校の6年生を招待いただく横浜臨海学校が昭和48年から総数4600人の児童がお

世話になってきました。今年は、本村と市の小学生らが稲刈りや餅つき等で交流を図り、更に市の民生児童委員、青少年指導員等が来村し、意見交換を行いました。

交流の中に農業体験を取り入れるのはとても重要なことだと思えます。様々な事業を通じて昭和村と横浜市のより一層の交流ができれば幸いです。



横坂 末吉 議員

除雪路線を見直す検討を

村長 除雪路線以外にも適宜対応



凍結した路面

問 村の地形は北西側に面していて高低差があるため、日当たりが悪く、雪解けが遅い箇所が数多くある。除雪路線に含まれていない道路で積雪すると凍結し、車が停車しづらく、子どもたちの通学時に事故が発生する危険性が高くなる。除雪路線に含まれていない道路を追加指定する等、区域を見直す検討を求め、村長の考えを伺いたい。

答 村長 今年度の除雪路線は70路線を予定しており、村内7業者に委託しています。業者の所有する除雪機や人員等により、路線の追加や見直しは難しい状況です。積雪の状況や路面の状態により除雪路線以外にも適宜対応していますが、各行政区の地域力にも期待をしたいと考えています。

問 職員は毎日気をつけて庁用車両を運転していると思うが、万が一、事故に遭った時などの対応としてドライブレコーダーが役立つと考える。

答 村長 現在の車両数は計57台で、全車両にドライブレコーダーの装着はありません。バスなど職員以外の人が乗る車両への装着を検討していましたが、今後は性能と対象車両を考慮して導入を行い、全体への装着はその効果を見て検討したいと思えます。

ドライブレコーダーの装着状況は



安全運転を記録



藤井 貞充 議員

進む高齢化と道路愛護

建設課長 対応できない箇所は村内業者に



アレチウリ

問

春と秋に道普請の作業が行われているが、高齢化が進み、参加できない方が増えてきた。今まで通りに作業ができなくなりつつあるが、村はどうか把握しているのか。

また、大規模農道では草木が繁茂し、見通しが悪くなっている。渋川地区では業者が草刈りをしているが、村の現状を伺いたい。

答

建設課長

多くの行政区で同様の問題を抱えていると考えられています。

また、道路脇の草木対策には除草剤の費用を助成しており、各行政区で対応できないところは職員が対応しています。更に職員でも対応できない部分は村内業者をお願いしています。

在来の植生と外来植物

問

昭和村は「日本で最も美しい村連合」の会員として景観条例を制定している。しかし近年、野原や道ばたにセイダカアワダチソウ、オオブタクサなどの外来植物が多く見られるようになった。また、生育の早いアレチウリはツル性で、建物や木々一面を覆い、他の植物は負けてしまふ。見た目も悪い。対策について伺いたい。

答

産業課長

国の定める特定外来生物のリストは年々増えています。外来生物とその駆除方法の周知を図るとともに、関係機関と連携を取りながら外来生物の繁茂の温床となりやすい耕作放棄地の解消にも努めていきたいと考えています。



セイダカアワダチソウ



林 祐司 議員

文化協会にも表彰規定を！

教育長 制定に向けて準備を進める



文化協会にも表彰規定を

問

体育協会には表彰規定があり、社会体育の発展に寄与した人や県大会以上で活躍した競技者を体育功労者、優秀競技者、優良競技者として村民運動会や卓球大会の席上で協会表彰を行っている。文化協会も同様に表彰規定を作り、様々な分野で活躍している村民を表彰するよう求める。

答 教育長

第5次総合計画の中でも、郷土芸能の保存、継承や文化・芸術活動の支援を施策の方針として、文化協会において、優れた文化・芸術活動の普及・発展に功績のあった方々や団体を表彰する規定の作成に向けて準備を進めたいと思います。

春先に滑り止めの砂の撤去を

問

積雪時期は道路に滑り止めの砂を撒き、冬の交通安全を確保していただいております。大変感謝しております。しかし、春先にそれが交通の障害になってしまふ。春の道路清掃時に地域で掃除をしているが、高齢化が進み対応しきれない。県道は土木事務所が対応しており、村道の主要幹線道路の撤去は村で対応してもらいたい。建設課長の考えを伺う。

答 村長

砂撒きは降雪の回数や量、除雪状況等によって状況が変わります。それらを勘案し、また地域の実情をみて、対応可能な部分是对応できるように準備を考えていきたいと思っております。

答 建設課長

本村は坂道が多く存在し、除雪・砂撒きには必要不可欠な作業です。過去には業者に委託して砂の撤去を行った経緯はありますが、経費がかかりすぎるため、道路清掃等に対応をお願いしたいと考えています。しかし、高齢化が進む中でその状況を見極めつつ対応を協議したいと考えています。



砂撒き作業



林 幸司 議員

広域化で 国保税の引き下げが可能に

村長 高いと認識している
負担が大きくならないよう努めたい



問

来年度からの県広域化に伴い国負担が3千4百億円(1人1万円)増やされ、引き下げが可能に。年収3百万で40万円課税は過酷。県下2番目に高い国保税は引き下げを求める。

答 村長

医療費は低いのに、婦恋村に次いで高いのは不可解に感じています。できるなら引き下げたい思いはありますが、会計は厳しい状況にあり、負担増にならないよう努めていきたいと思っています。広域連合では、平等な運営を県や国にお願いしていきたいと考えています。

保育料無料化、子育て支援策の拡充を

問

保育教育無償化の財源は、消費税ではなく大企業や富裕層への応分の負担でまかなうべきだ。

来年度予算で、村長公約の保育料無料化と子育て支援策の大幅拡充を求める。

答 村長

消費増税・財源については国の動向を注視し、国には不公平のない制度

として無償化・負担軽減の実現を望みます。

来年度からの保育料完全無料化等については、財政状況をふまえ段階的に実施していきたいと考えています。

答 教育長

国の動向を見据えた上で、総合教育会議の場でよく検討していきたいと思えます。

北朝鮮問題は武力でなく対話で解決を

問

北朝鮮の暴挙に厳しく抗議。経済制裁強化と平和的解決を求め、先制攻撃がなされないよう努力していただきたい。

憲法9条をないがしろにする改憲に反対するよう求める。

答 村長

軍事力行使は絶対に起こしてはなりません。できることがあれば積極的に行動していきたいと思っています。

憲法改正が、軍事力行使のためなら反対ですが、自衛隊の皆さんが信念を持って国と国民を守るための改正であると信じて賛成の立場をとらせて



ていただきました。

上野村の子育て支援事業

- 5万円の奨学金貸与、村に戻ると返済免除
- 0歳から18歳までの医療費完全無料
- 1歳時に誕生祝金3万円支給
- 保育園・小学校・中学校の給食費完全無料
- 保育料は無料から月額2千円(～2歳5千円)
- 小学校・中学校の入学時に3万円の祝金支給
- 第3子以降月額1万円、低所得は5万円支給



兵藤 喜孝 議員

友好交流都市との積極的な職員交流を

村長 徐々に発展させていきたい

問

村でも、都市と農村の在り方を考えなければならぬ。それには相手方の行政の仕組みを学び、意見交換等の機会を重ね、職員同士の関係を深めることが大切である。将来を見据えて積極的な職員交流を願うが、村長の考えを伺いたい。

答 村長

職員同士の関係を深めることは交流促進に繋がり、組織の活性化や更なる自治体間の協力や連携に活かされるものであります。

同じ業務を担当する職員同士の交流からはじめ、徐々に発展させていきたいと考えています。

問

村の交流事業を見直す検討について、現在の交流の窓口は企画課であり、事業の多くを担当しており、偏っていると感じる。他の課も含め、多くの職員が交流事業に対して意見交換や参加できる村の組織作りを願う。村長の考えを伺いたい。

答 村長

産業課や教育委員会でも一部行っていますが、交流事業の主は企画課が担当しており、他の課は参加する機会が少ない状況です。

若い職員が所属する課を越えて参加できるように、課ごとの横の繋がりを深めていきたいと考えています。



横浜公園でこんにやく植え

伝わる広報を学ぶ

広報編集特別委員会で視察研修

10月17日、平成28年度町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞した石川県内灘町議会で研修いたしました。

内灘町議会では、年度初めに1年間の発行概要を作成し、編集指針を定めて構成やレイアウトの統一を行う等の工夫をするほか、新聞社への視察を行い、レイアウト等の研究をしているとのことでした。



内灘町議会を視察

広報研修会

9月28日、シェーンバッハ・サポー(東京都)にて開催された研修会に参加し、2名の講師による講演を受けました。

講演Ⅰ「伝える広報から伝わる広報へ」

広報コンサルタント 小田順子氏

講演Ⅱ「広報紙×電子広報 なにがどう変わったか！」

広報アナリスト 吉村 潔氏

読みやすく・読まれる広報とはどういうものか、どのように編集すべきかを学びました。また、インターネットの普及に伴い、電子広報やSNS[※]を活用することで、情報の提供や共有がより手軽にできる等、発信方法についても研修しました。

(※)ソーシャルネットワークワーキングサービス

11月15日には、市町村会館(前橋市)にて、議会広報サポーターの芳野政明氏による「住民と共に歩み信頼される議会へ」等の講演を受け、議会広報の基本と編集について学びました。

研修会等で委員それぞれが感じ、持ち帰ったものを今後の広報編集に活かし、住民の皆さんが分かりやすい議会だよりをお届けできるよう、更なる研究を重ねていきます。

県町村議会議員研修会

10月27日、吉岡町文化センターで開催された研修会に議員全員で参加しました。

講演Ⅰ「二元的代表制の真髓」

東京大学名誉教授 大森 彌^{わたる}氏

講演Ⅱ「健康寿命を延ばすための食生活」

食生活ジャーナリストの会 佐藤達夫氏

二元的代表制とは、住民が首長と議会議員を別々に直接選挙で選出する制度であり、首長と議員は住民のために行動するため、一定の緊張関係のもとで協力し合う等の関係によって成立しています。

議員は行政運営の基本的な方針を決定、執行の監視、提言を行います。



熱弁する佐藤先生

問

新年度の予算措置では、子育て支援をどのように捉え、保育料の無料化に向けての支援をする考えがあるのか伺いたい。

答

子育て支援は、最も重要な施策と考えています。新年度では第3子目に加え、第2子目の保育料無料化を実施する方向で準備に取りかかり、また、納めた保育料の2割程度を支給する子育て支援金支給事業は3割に拡充し、おむつ等の購入費助成事業は月額3千円から4千円に増額することを前向きに検討しています。

その後

平成28年度からの子育て支援施策

①第2子目以降保育料無料化(平成27年度まで第3子目以降)

※県事業で、第3子以降で3歳未満児に対する補助事業実施

②子育て支援金は2割から3割に拡充

- ◎保育料を完納した村内保護者に対して支給
- ◎財源は全額村負担

③おむつ等の購入助成を月3千円から4千円に増額

- ◎2歳未満の乳幼児をもつ村内保護者に対して、おむつ代等日常生活用品購入費助成
- ◎財源は全額村負担



すくすく育つ子どもたち

第2子以降保育料無料化を

追跡 シリーズ 30

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

(平成27年12月定例会一般質問)

議員出前懇談会

意見に対する回答

議会を身近に感じてもらい、村民の意見を村政に反映させることを目的に10月23日から11月8日にかけて、村内6会場で実施しました。



入原公民館

総務課

問：区長、婦人会長、民生児童委員会長などあて職が多すぎ大変である。現職ではなく役が終わった人でもよいのではないか。

答：村の行政活動は多岐にわたり、各政策決定等多方面から専門的な意見を含め聴取するために経験を含めて人選して取り組んでいきます。そのため今後は少しでも負担を減らすことを考えていきたいと思えます。

問：災害時の備蓄品は、どういったものがどのくらいあるのか。

答：飲料水500mlペットボトル80箱や食料では保存パン24個入り20箱、毛布

200枚や豆電灯400個、その他、持ち運び用飲料水袋400袋など役場に保管しています。

問：ふるさと納税は、主に教育関係に使っていただきたい。

答：ふるさと納税は、寄附者に目的を選んでいただいています。目的は(1)教育・文化 (2)健康・福祉 (3)自然・生活環境 (4)農業・産業振興 (5)その他です。目的毎に集まった寄附を目的に合わせた事業に利用させていただきます。

企画課

問：道の駅は駐車場も狭く、子どもの遊べるところが少ない。

答：周りが農地で、村の土地がないため、代替地等で対応していきたいと考えています。

問：子どもの数が減っているが、減少対策として今後どのようなことを考えているのか。

答：現在の子育て支援、定住対策を継続するとともに、遊休農地の宅地化を検討していきたいと思えます。

保健福祉課

問：第一・子育保育園は0歳児から受け入れるが、第二保育園は2歳児からなので、同じ対応ができないのか。

答：第二保育園は、平成11年度から2歳児を受け入れています。第一保育園においては、0、1歳児の受け入れを同時期に行い、現在に至っています。第二保育園の受け入れ年齢の引き下げについては、保護者のニーズを正確に把握した上で、慎重に検討していきたいと思えます。

問：介護保険を使わないようにしていかないとパンクする。村として予防段階で何かできないものか、考えはあるのか。また、村民の意識改革をして予防を全面に押し出した対策が必要ではないのか。

問…現在、村では介護予防の取り組みとして、村内26会場で「筋トレスロン」を実施しています。今後は、さらに地域住民が主体となった生活支援・介護予防の充実を図れるような体制整備をしていきたいと思えます。

産業課

問…資源ごみの分別では、プラマークがわからない人もいるので、もう少し分別の一覧をわかりやすく周知してほしい。

答…平成29年度から全地区の指定プラスチック等の資源ごみの集団回収が実施されていますが、パンフレットやホームページに掲載し、今後周知や分別の徹底を図り、燃やせるごみの減量化を進めます。

問…こんにやく生産量日本一なので、食堂だけでなく手軽に買えるテナントで玉こんにやく田楽などを販売してみたいかどうか。

答…(株)あぐりーむ昭和に今回の内容を説明し、検討を

お願いします。

建設課

問…除雪は主要道路を行っていると思うが、主要道路以外も除雪ができるよう村として考えているのか。

答…積雪状況や路面の状態により除雪路線以外にも適宜対応したいと考えています。

問…グリーンベルトの色も薄くなってきている。

答…グリーンベルトの色が薄くなってきている箇所につきましては、順次対応していく予定です。

教育委員会

問…給食費の無料化を実施している市町村もあるが、無料化になると経費削減になり給食の質が落ちないか心配である。

答…給食の提供に必要な食材の購入費や人件費等は、年度初めに予算として確保されています。村では学校給食に地場産、国内産を中心とした安全な食材を選

び、なるべく手作りを心掛け、食品添加物などを少なくする工夫をし、良質でおいしい給食の提供に努めています。

問…村民運動会の選手選びが大変である。競技の見直しや中学と合同で実施するなど今後の運動会のあり方を検討してほしい。

答…毎年8月、村内各行政

開催日	開催場所	参加者数
10月23日(月)	追分住民センター	3人
10月24日(火)	入原公民館	17人
10月26日(木)	地域活性化センター	10人
10月30日(月)	松ノ木平第二住民センター	12人
11月6日(月)	生越住民センター	21人
11月8日(水)	J A南部支店	12人

区の代表者の皆様にお集まり頂き、「村民運動会打合せ会議」を開催して運動会の運営や内容について、ご意見を伺っています。今後も、住民の皆様のご意見を伺いながら、運動会のあり方を検討していきます。

お疲れの中、懇談会に出席していただきありがとうございます。このほかにも

も村政全般に様々な要望や、発案をいただきました。私たちが日常生活をおくる中で身近にある小さな疑問、要望を一つ一つ解決していくこそが、住み良い村づくりの一番の近道だと思います。

今後も、みなさんとの対話を村政に反映させ、より良い村づくりを実践していきます。



生越住民センター

中学生議会 1組



平成29年11月28日に第13回中学生議会が役場議場において開催され、中学生が本番さながらの一般質問や提案を行いました。

林 結菜



質問 数年前に大雪が降り、村内の道路が塞がってしまふなど多くの被害が出ました。降雪があると日陰で雪が溶けにくい場所がたくさんあり、中には事故が起こる可能性が高くなる箇所があります。降雪時に対してどのような対策をしていますか。

鶴淵 秀斗



提案 積雪のあと、道路に少しでも残雪があると滑りやすく危険なため、流雪溝※

の設置を提案します。通学路など人が多く通る場所での事故を防止するために人通りの多い箇所に設置するのはいかがでしょうか。
※・自然の流水の運搬作用を利用して雪の塊を流して排雪するための設備。

答(村長) 平成26年2月に約1mの積雪があり、大きな被害を受けました。その教訓から、平成27年度にロータリー除雪車を購入し、活用しています。また、日陰で雪が溶けにくい場所や坂道は、除雪だけでなく、砂や凍結防止剤を撒き、滑り止めの対策を行っています。

流雪溝を設置するには付近に安定して得られる豊富な水源が必要です。本村の取水可能な水源は片品川だけで、最低部を流れているため、取水が困難なうえ、地形も不向きです。通学路など人が多く通る箇所につ

新木 香音



いては、地域の協力を得ながら対応を考えたいと思います。

七五三木 吉亮



提案 分別方法の検索やゴ

質問 昭和村のゴミリサイクル率は全国平均より低く、一方、みなかみ町は県内2位でした。(平成27年度調べ)
村のゴミリサイクル率を上げるためにどのような対策をしていますか。

ミ出し日を通知で知らせる「さんあーる」というアプリの活用を提案します。このサービスは全国の自治体が参加でき、自分が住んでいる自治体が参加していると住民は無料で使えます。また、リサイクルについてのクイズができるので、ゴミやリサイクルに対する意識を高めることもできます。

きちんと分別してゴミを出してくれる人が多くなることが期待でき、リサイクル率が高くなると思います。

答(村長) 村内では、平成17年度から、燃やせるゴミと資源ゴミを分別し、資源ゴミの集団回収を全地区で取り組んでいます。平成28年度からは指定プラスチックの試験回収を2箇所、平成29年度からは全地区で実施し、リサイクル率を上げる対策をしています。

次に「さんあーる」の活用ですが、現在導入をしていますが、近隣で導入している沼田市、みなかみ町の状況を見ながら、今後検討したいと思います。なお、

ゴミ回収と資源ゴミは、全戸配布した昭和村ごみ収集計画表やホームページでの掲載により周知をしています。また、ホームページからゴミの収集計画表、地区別集団回収実施予定表をダウンロードできます。



木村 ひまり

質問 昭和村には総合病院のような施設がないため、村外へ通院する人が多いと思います。高齢者にとって定期的に村外の病院へ行くことは大変だと思いが、そういった方々への配慮を何か行っていますか。



倉澤 潤之介

提案 病院まで往復料金のタクシー券の配布を提案します。定期的に通院しなければならぬけれど、高齢者のみの世帯で移動手段が乏しい、バス停まで遠い人などを対象に一世帯に20枚程度ずつ、利用範囲は利根沼田市内に限定します。一定回数を超えた場合は自己負担になりますが、今までよりも病院へ行きやすい環境が作れ、負担を軽減できると思います。

答(村長) 本村における病院までの交通手段は、病院の通院支援や自家用車、公共交通機関の路線バスです。村では、65歳以上の方に対して、一部助成して敬老バスカード※の販売を行っています。

また、高齢者世帯や一人暮らしの方については、通院等に対し、送迎サービスを社会福祉協議会に委託して行っています。

しかし、既存の路線バスを利用して外出することが困難で移動手段を持たない方もいます。こうした中、

通院など利用目的を限定しての移動手段を確保することは、重要だと考えています。タクシー料金の助成を行っている自治体を研究し、可能性を探っていきたいと思います。
※・1枚1700円で4350円分利用可能。



新木 奈都

「議長を務めて」

私は議長を務めさせていただきますました。初めはとても緊張し、不安でいっぱいでしたが堂々と話すことができました。そして、議会の緊張感ある雰囲気や進行する責任感などを学ぶことができました。この中学生議会のために一人ひとりがより良い村にしようとして一生懸命取り組んできました。このより良い村にしようと考えてる力や自分たちでどうしたら良くなると提案した

経験はこれから生かせる場面がたくさんあると思います。

村長さんや教育長さんは私たちの質問や提案について、とても分かりやすく説明・答弁してくれました。その中で知らなかったことや気付かなかったことが多かったです。

私たちが提案したことが将来に活かされていたら良いと思います。これからもより良い昭和村にするために、できることをやっていきたいです。

このような貴重な体験をすることができ、本当に良かったです。



中学生議会 2組



倉澤 卓くらさわ たく



質問 昭和村には日本語用防災マップの他に、外国人向けの防災マップはありますか。

また、外国人に対して防災のための支援をしていますか。

竹内 由佳たけうち ゆか



提案 災害時に避難指示が出ても、外国人は避難場所等がわからないと思うので、外国人用の防災マップを作ることを提案します。

また、防災行政無線で「熊の出没」などを日本語で放送していますが、村には中国人をはじめ外国人が多く住んでいるので英語や中国

語での放送を追加したらどうでしょうか。更に、非常時に外国人が迅速に行動できるように避難場所も合わせて放送するのはいかがですか。

非常事態に備え、村全体で半年に一回程度、避難訓練をした方がいいと思います。

答(村長) 現在、中国語での防災マップは作成中ですが、今後、世界的共通語の英語での防災マップ作成も計画しています。

外国語による防災行政無線の放送については、今後、外国人が更に増加する場合、外国語での放送を検討する必要があります。

また、村全体での避難訓練については、地域のみな

さんにもご協力いただき、自主防災組織の設立、地域で危険箇所や避難場所の確認をする取り組みを進めていきたいと思っています。

桑原 緋呂くわはら ひいろ



質問 中学校で停電が起ると時計が止まり、復旧後も時刻が狂ったままの時計があります。正確な時刻がわからず授業に遅れてしまいます。停電の後でも正確な時刻を表示するような工夫やその他の方策について何か考えをお持ちでしょうか？



堤 美侑帆



提案

中学校にある全ての時計を電波時計に変えることを提案します。現在、昭和中学校では時間が止まっているなど正確でない時計がいくつもあります。電波時計にすることで、もし停電になって止まっても、その後自動で正確な時刻を表示することができます。全てを一度に変えるのは難しいと思いますが、少しずつでも変えていってはどうでしょうか。

答(教育長)

学校の時計は、校舎建設当時に導入した電気設備の基盤で一括制御されて連動しているものと、そうでないものがあります。連動しているものは職員室内で調節することができますが、連動していない一部のものは、職員が一つづ

つ手動で合わせています。停電等は速やかに調整するように取り組みたいと思います。

電波時計を導入する場合は、電気設備の基盤全体を交換する必要があります。今後、校舎の大規模改修などと合わせて検討していきたいと思います。

フンティラ ユリ



質問

冬になると路面が凍結し、小中学生の登下校や歩道を歩く人たちが滑ったりに危険です。このような問題にはどんな対策や工夫をしていますか？

小池 雪



提案 路面凍結防止マット

(非電力融雪マット)を小学校の近くや歩道に設置することを提案します。

非電力なのでランニングコストがかからず、オールシーズン使用可能です。冬でも出かける高齢者の方がいると思うので、これを滑りやすい場所に設置することで転倒や事故防止になります。また、学校の近くに設置することで、登下校時の子供たちの安全も今以上に確保できると思います。

答(村長)

冬場の道路及び歩道の凍結対策は、除雪路線を決め、村内業者に委託しています。積雪が約10cmに達することが想定される場合、除雪及び砂撒き作業を実施しております。また、特に凍結し危険な場所については、ロードヒーターを設置してあり、歩行者用のロードヒーターは、南小の東側の坂道に設置してあります。

ご提案の歩道に路面凍結防止マットを、滑りやすい場所に設置することについて

てですが、現在は歩道や階段などへの利用を想定して、注目を集めつつありますが、安全性や昭和村の気候に凍結防止マットが適しているかなどを検討していきたいと思います。

「中学生議会議を振り返って」

斉藤 楓侑



私は中学生議会議で議長を務めさせていただきました。私は自分自身が質問や提案をすることはありませんでしたが、堂々と質問や提案を述べているクラスメイトを見て、すごいなと思いました。また、自分たちの質問や提案に村長さんや教育長さんが丁寧に答えて下さり、一生懸命に質問や提案を考えて良かったと思います。中学生の私たちがなかつた点もあつたと思



ますが、中学生なりに考えたことなので、少しでも中学生の意見が反映されたら良いなと思います。今回の中学生議会議は、村のことや議会議のことを知り、考える良いきっかけになりました。また、村のために自分たちができることは何か考えたとき、学校で行っている「森林に親しむ会」やゴミ拾いなどたくさんあるのだから、村のために心を込めて取り組もうと思いました。そして、この昭和村をもっと大切にしていこうと思いました。

私は中学生議会議を通して貴重な体験をさせていただきました、とても嬉しく思っています。また、この経験を活かして村に貢献していきたいなと思います。将来、村を支えていくのは私たちだと思ふので、今から村のためにできることを自分で考えて行つていきたいと思ふます。とても貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

地域でがんばる人



昭和三和村文化協会会長 眞下 直治さん



(森下謙沢)

昭和三和村文化協会は平成29年度に38団体が加入しており、主に公民館を拠点として各々活動しています。昭和三和村文化協会の全体の活動は、村民歴史探訪や文化祭、芸能祭の3つの行事を中心としています。近年は少子高齢化や趣味の多様化に伴い、参加団体の減

少傾向や会員の高齢化による後継者問題等が懸念されています。対策の1つとして、現状のニーズの掘り起こしが必要と思われます。昨年より文化祭に、本村の文化財でもある縄文土器作りの体験コーナーを設け、親子で楽しめる場として好評でした。芸能祭も観覧だけでなく、皆で参加できるプログラムとして「全員合唱」を取り入れることで楽しむことができました。

長きにわたり、このように行事が開催できますのは、関係者の皆様をはじめ、村民皆様のご協力とご支援の賜と感謝を申し上げます。今後とも宜しくお願いします。



親子で楽しく縄文土器作り

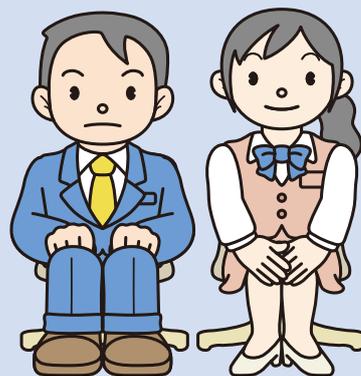
議会を傍聴してみませんか？

昭和三和村議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題などを審議しています。

是非、村民の皆さんの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は、3月を予定しております。

お問い合わせは議会事務局まで(☎24-5111)



編集室から

新年あけましておめでとうございませう。

昨年を振り返りますと夏の長雨による異常気象や農産物価格の低迷と大変な一年でした。昨

年は自然災害の大雨対策で雨量計を村内3箇所に設置しました。村民が安心・安全で暮らせるように防災行政無線と共に有効に活用していただきたいと思

います。無病息災で良い一年になりますよう心から願っています。

藤井 照明 記

議会広報編集特別委員会

委員長 藤井 貞充

副委員長 高橋 隆雄

委員

永井 一行 横坂 末吉

林 祐司 藤井 照明

兵藤 喜孝 加藤 生